

新登録システムの主な変更点



2017年12月17日
新登録管理システム概要説明会

Rev.1

目次



1. システム利用範囲、管理者の変更
2. ID運用方針の変更、ID統合、ID取得方法
3. 本人登録の必須化
4. ログイン認証機能
5. チーム、競技者登録の流れ
6. 大会設計
7. 講習会～ライセンス管理
8. メール配信機能
9. その他 補足事項



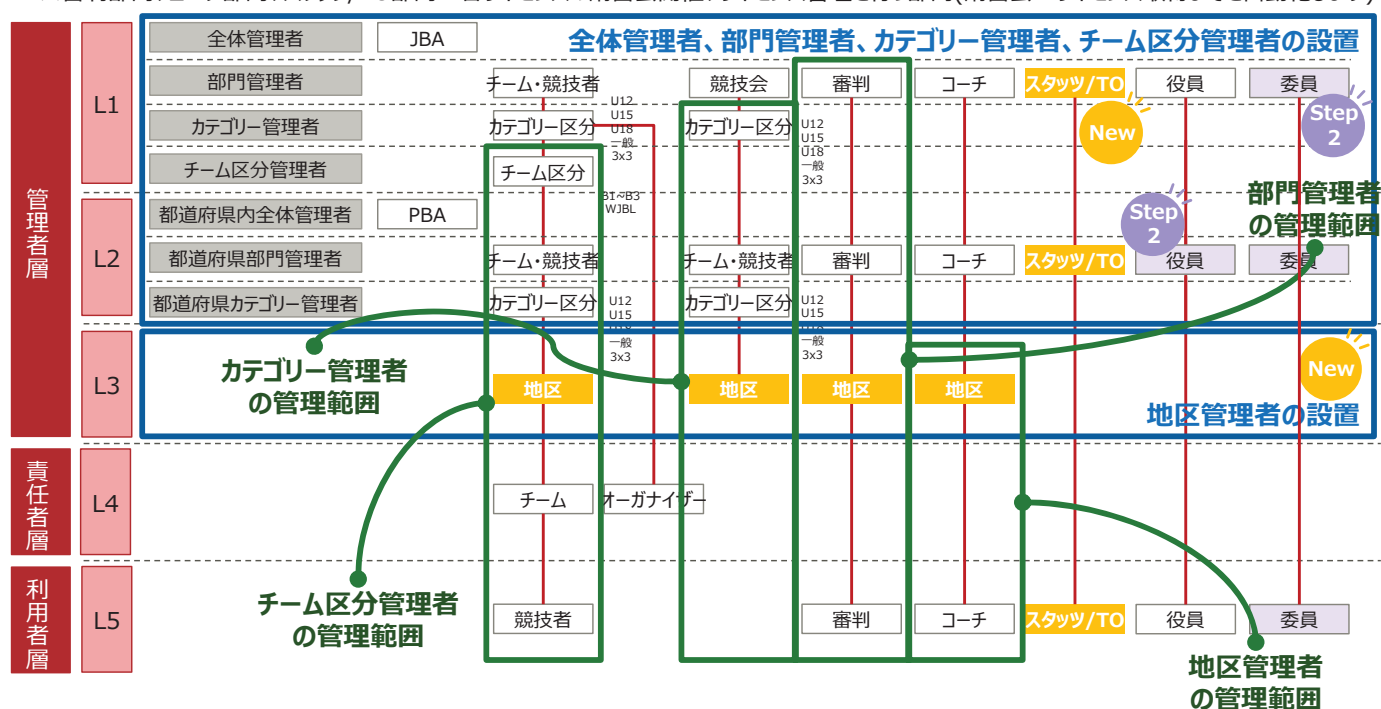
システム利用範囲、管理者の変更



システム利用範囲、管理者の変更



- 連盟の見直しに伴い、部門、カテゴリー、チーム区分管理者を設置します。また、地区レベルの大会や講習会の開催にも対応できるよう、地区管理者を設置します。また、スタッツ/TOのライセンス化(将来)を見据え、スタッツ/TO部門を設置します。
- 部門、カテゴリー、チーム区分管理者は自身の配下の情報のみ管理可能とします。
 - ※チーム競技者部門 : チーム、競技者の加入申請を管理する部門
 - ※競技会部門 : 大会の登録、申込を管理する部門
 - ※審判部門、コーチ部門、スタッツ/TO部門 : 各ライセンスの講習会開催、ライセンス管理を行う部門(講習会～ライセンス取得までを自動化します)



<参考> 新旧団体対応表

旧団体		新団体		
日本バスケットボール協会	日本協会	日本バスケットボール協会	L1	全体管理者
日本バスケットボール協会 審判部	日本協会	日本バスケットボール協会 審判部門	L1	部門管理者
日本実業団バスケットボール連盟	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ	L1	カテゴリ管理者
日本クラブバスケットボール連盟	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ	L1	カテゴリ管理者
日本ミニバスケットボール連盟	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 U12カテゴリ	L1	カテゴリ管理者
ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ B1	全国連盟	日本バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ B1 チーム区分	L1	チーム区分管理者
青森県バスケットボール協会	都道府県協会	青森県バスケットボール協会	L2	全体管理者
青森県バスケットボール協会 審判部	都道府県協会	青森県バスケットボール協会 審判部門	L2	部門管理者
青森県実業団バスケットボール連盟	都道府県連盟	青森県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ	L2	カテゴリ管理者
青森県クラブバスケットボール連盟	都道府県連盟	青森県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ	L2	カテゴリ管理者
青森県ミニバスケットボール連盟	都道府県連盟	青森県バスケットボール協会 チーム競技者部門 U12カテゴリ	L2	カテゴリ管理者
山形県最北地区実業団連盟	地区連盟	山形県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ 最北地区	L3	地区管理者
山形県最北地区クラブ連盟	地区連盟	山形県バスケットボール協会 チーム競技者部門 一般カテゴリ 最北地区	L3	地区管理者

<参考> ID体系について

メンバーIDの考え方

現行システム

0 00000000

性別 ランダム 8桁
5: 男性
6: 女性

新システム

000000000

ランダム 9桁

- 新システムでは**9桁ランダムでの数値**とします。
- 現行システムから移行されたメンバーIDは**そのまま保持**します。
- 新システムで新たにメンバーIDを発行する際は、既に発行されているメンバーIDと重複しないように採番します。

チームIDの考え方

現行システム

45 0000000

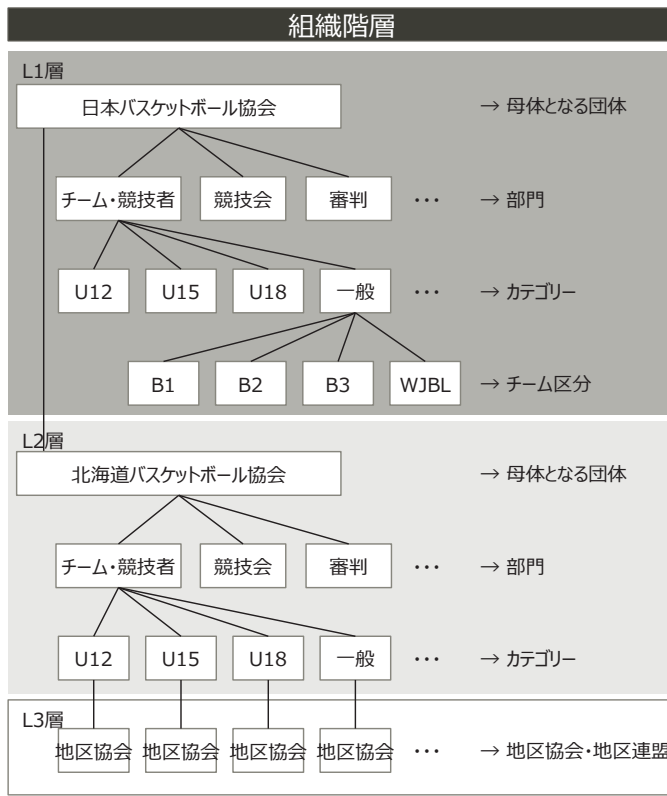
45: 男子 ランダム 7桁
46: 女子

新システム

T 00 0000000

T: 固定 男子: 45 ランダム 7桁
女子: 46

- メンバーIDとの混同を避けるため、IDの先頭に**固定で“T”を付与**します。
- 新システムで新たに付与されるチームIDは、現行システムと同様に**T+45 (男子) または46 (女子)**をIDの先頭に付与します。



団体IDの考え方

G	00	00	00	00	00	00
G: 固定	都道府県	部門	カテゴリー	チーム	地区	その他
	区分	区分	区分	区分	枝番	階層用
	01~47	01~08	12~40	01~19	01~99	枝番

L1層の母体となる団体ID
日本バスケットボール協会： G990000000000

L1層のチーム・競技者部門の団体ID
日本バスケットボール協会
チーム・競技者部門： G990100000000

L1層のチーム・競技者部門 一般カテゴリーの団体ID
日本バスケットボール協会
チーム・競技者部門 一般カテゴリー： G990130000000

L1層のチーム・競技者部門 一般カテゴリー B1の団体ID
日本バスケットボール協会
チーム・競技者部門 一般カテゴリー B1： G990130010000

L2層の母体となる団体ID
北海道バスケットボール協会： G010000000000

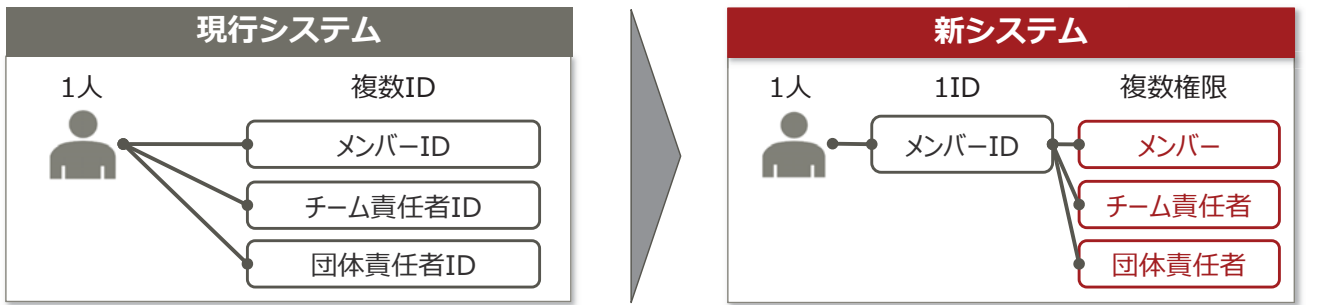
L2層のチーム・競技者部門の団体ID
北海道バスケットボール協会
チーム・競技者部門： G010100000000

L2層のチーム・競技者部門 一般カテゴリーの団体ID
北海道バスケットボール協会
チーム・競技者部門 一般カテゴリー： G010130000000

L3層の地区協会の団体ID
北海道バスケットボール協会
チーム・競技者部門 一般カテゴリー 南地区： G010130000100

ID運用方針の変更、ID統合、ID取得方法

■ 「ID忘却の減少」や「個人データの統合管理」の観点より、新システムでは、1人1IDの登録運用を行います。

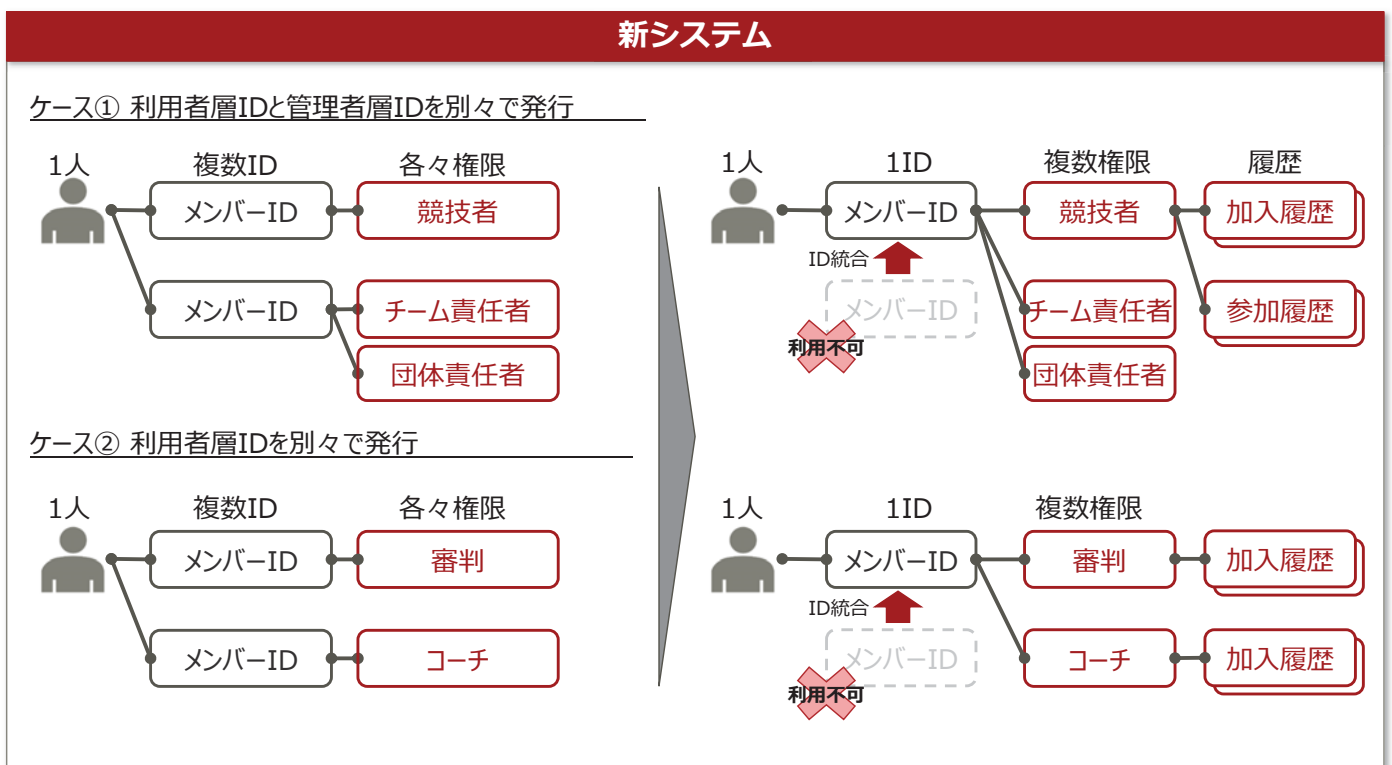


1人	1ID	初期権限				L1~L3系権限				複数権限				
		メンバー	団体管理者	チーム責任者	オーガナイザー	競技者	審判	コーチ	コミッショナー	スタッフ/TO	役員			
JBA太郎	00001234	○				○								
JBA花子	00005678	○	○	○	○	○								
JBA次郎	00009999	○												

1人に対して複数のレイヤーをまたがる権限を付与した場合、用途に応じたメールアドレスが登録可能です

ID統合

- ID忘却後メンバーIDを再取得するなどしてメンバーIDを二重発行してしまった際、メンバーIDの統合を行うことが可能です。
- メンバーIDの統合を行うことで、加入履歴情報や大会・講習会の参加履歴情報を統合先のメンバーIDに繋げることができます。

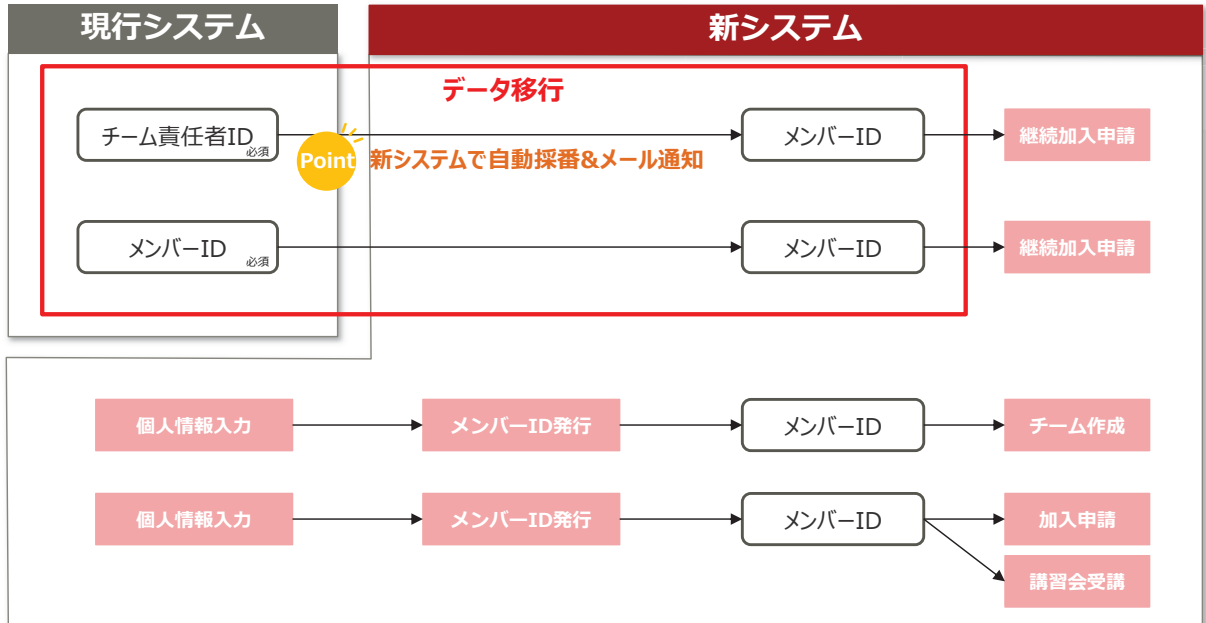


- 団体責任者は新規メンバーID取得後、団体責任者として割当てを行うことで管理者権限を持つことができます。（責任者情報の移行は行いません）
- 現行システムでチーム責任者だった利用者は、責任者情報を新システムに移行し、新システム側で新規メンバーIDを自動発行し、メールで通知します。新規にチームを登録する場合は、新規メンバーID取得後に、**チームの新規登録**を行うことでチーム責任者となります。
- その他の個人利用者は自身で新規メンバーID取得を行うことで、新システムを利用することができます。

更新の場合



新規の場合



- ・ 本人登録の必須化
- ・ ログイン認証機能

本人登録の必須化

- IDの本人管理を推進していくために、**U18・一般カテゴリー**においては**本人登録を必須**とします。
- U12,U15カテゴリーについては、現行システムと同様に、責任者による登録を可能とします。

本人登録の流れ



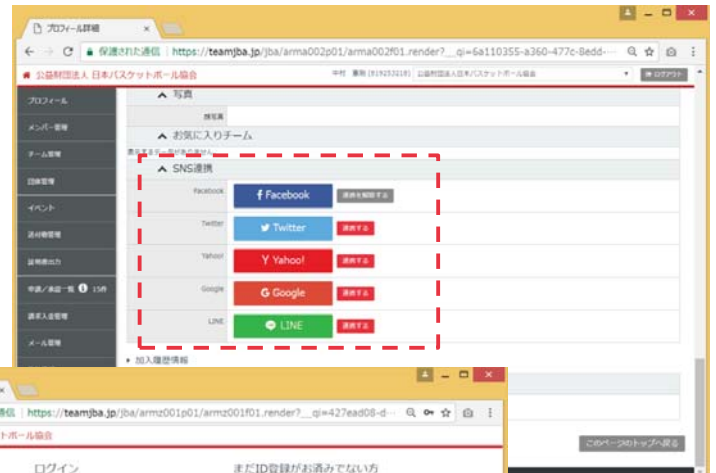
ログイン認証機能

- SNSアカウント等外部サービスでの新規登録、ログインが可能な仕組みとし、利便性の向上を図ります。

新規メンバー登録-SNSアカウントによる認証



プロフィール詳細画面-SNSアカウントとの紐付け



(↑) ※Twitter,LINEはメールアドレスの連携が出来ないため新規メンバー登録時には利用できません。

ログイン画面-SNSアカウントによるログイン



チーム、競技者登録の流れ



チーム、競技者登録の流れ



現
行
シ
ス
テ
ム

加入コードを指定して都道府県に加入申請
承認時に過去の加入履歴を確認できない

加入コードの問合せが多い
移籍を繰返す競技者を発見しにくい
競技者移籍に手間がかかる

新
シ
ス
テ
ム

1

加入コードの撤廃

- ・ 都道府県、カテゴリー、地区選択による加入申請
- ・ 都道府県への問合せなしで加入申請可能

2

チーム・競技者加入申請承認有無 設定機能の新設

- ・ 各都道府県のルールに応じて承認有無を設定可能

3

競技者移籍機能の新設

- ・ チーム責任者による競技者移籍機能を新設（本人による移籍手続きは開発中）
- ・ 移籍元チーム責任者による許可のみで移籍手続きを実施可能



大会設計

現行システム

単独チームの大会申込管理のみ可能

選抜チームの大会管理ができない。
エントリー変更の受付ができない。
記録システムと連動していない。

新システム

- 1 柔軟な大会設定が可能
 - ・システム上でのエントリー変更受付機能を追加
 - ・単独チームの他、選抜・混成チームにも対応
 - ・未登録競技者がエントリーできるイベントの設定も可能
- 2 予選大会→決勝大会の紐づけにも対応
 - ・県大会→全国大会への自動エントリーが可能
- 3 将来的に記録システムとの連携によるチーム成績、個人成績の蓄積が可能に
 - ・チーム単位、個人単位での記録の集計、閲覧が可能
 - (例：1大会トータルのチーム成績、年間での個人成績)

記録システムについても
今後各団体でも手軽に
利用できるような設計を検討中



<参考> 大会設定項目一覧

No.	設定項目	設定内容	用途
1	年度	当年度 or 次年度	大会の開催年度を登録します。
2	登録区分	競技者5×5 or 車椅子 or FID or DEAF or 3×3	大会に申込可能な登録区分を登録します。
3	大会名、大会名(カナ)、主催、主管	テキスト	大会名や主催、主管を登録します。
4	大会主催団体名	団体を指定して入力	主催団体を登録します。参加費用の入金先団体と紐づきます。
5	団体区分	JBA or WJBL or Bリーグ	団体区分を登録します。
6	開催地、開催期間、会場	テキスト	開催地、開催期間、会場を登録します。
7	大会区分	公式競技会 or 準公式競技会 or 承認競技会	大会区分を登録します。
8	予選会の有無	なし or あり	予大会の作成有無を設定します。「あり」を設定した場合のみ予選明細の作成が可能となります。
9	予選明細	予大会情報を設定	予大会情報を登録します。予選→本選の自動エントリーの設定が可能です。
10	男女別	男子/女子/混成	男女別を登録します。
11	参加チーム区分	単一チーム or 混成チーム	参加チーム区分を登録します。「単一チーム」の場合、男女別が「男子か女子」である必要があります。登録区分：3×3の場合や代表チームによる大会の場合、混成を選択します。
12	参加条件1	指定チーム or フリー	指定チームのみ申込み可能とするか設定します。
13	参加条件2 フリーの場合	都道府県、カテゴリー、チーム区分、地区を入力	参加条件1でフリーを選択した場合、申込可能な都道府県やカテゴリーなどを登録します。
14	参加条件3 複数チームのエントリー	エントリー不可 or エントリー可	複数チームのエントリーを許可するかどうかを登録します。
15	参加チーム枠数 (上限)	数値	大会の申込み枠数を設定します。
16	選考方法	先着順 or 締切後抽選	選考方法を登録します。先着順とした場合、参加チーム枠数に達した時点で申込みを締め切ります。
17	エントリー変更の可否	不可 or 可	申込後エントリー変更を許可するかどうかを登録します。
18	上位大会進出チーム数	数値	親大会への進出チーム数の上限を設定します。
19	指定チーム枠	数値	指定チーム枠を登録します。本設定の枠内のみ指定チームを登録可能となります。
20	キャンセル可否	不可 or 可	キャンセル可否を登録します。
21	アップロードファイル	ファイル	アップロードファイルを登録します。
22	日時制限情報	申込可能期間(日時)/エントリー変更期間(日時)/受付キャンセル期限日時/情報公開日時	日時制限情報を登録します。
23	参加スタッフ	役割/ライセンス/人数	チームに帯同させるスタッフの条件を登録します。
24	帯同審判	有無/人数/ライセンス	チームに帯同させる審判の条件を登録します。
25	参加選手	人数/年齢制限/オーバーエイジ,アンダーエイジ参加枠/申込時入力項目	競技者のエントリー条件を登録します。

<参考> 大会設定項目一覧

No.	設定項目	設定内容	用途
26	チーム参加料	数値 (円)	1チーム当たりの参加料を登録します。
27	複数チーム参加時の2チーム目以降の参加料	数値 (円)	複数チーム参加可能な場合の、2チーム以降の参加料を登録します。
28	選手参加料	数値 (円)	競技者1人当たりの参加料を登録します。
29	クレジット	期間/日数	申込期間内で払い込み可能期間を指定できます。(最大60日間まで設定可能)
30	コンビニ払い	期間/日数	申込期間内で払い込み可能期間を指定できます。(最大60日間まで設定可能)
31	ゆうちょ振込	期間/日数	申込期間内で払い込み可能期間を指定できます。(最大60日間まで設定可能)
32	キャンセル料金情報	期間/%	キャンセル料金情報を登録します。 ※キャンセル処理はシステムで行われません。

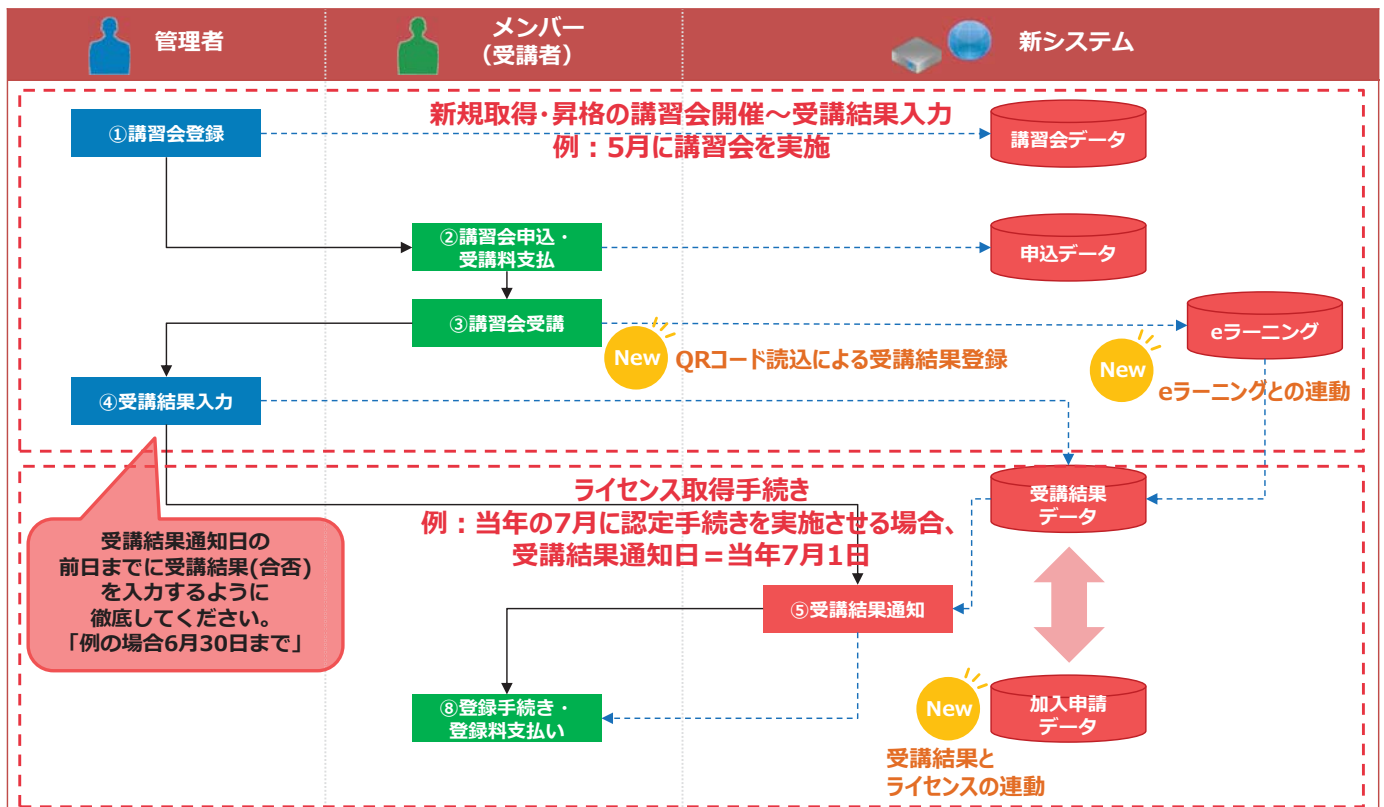
講習会～ライセンス管理



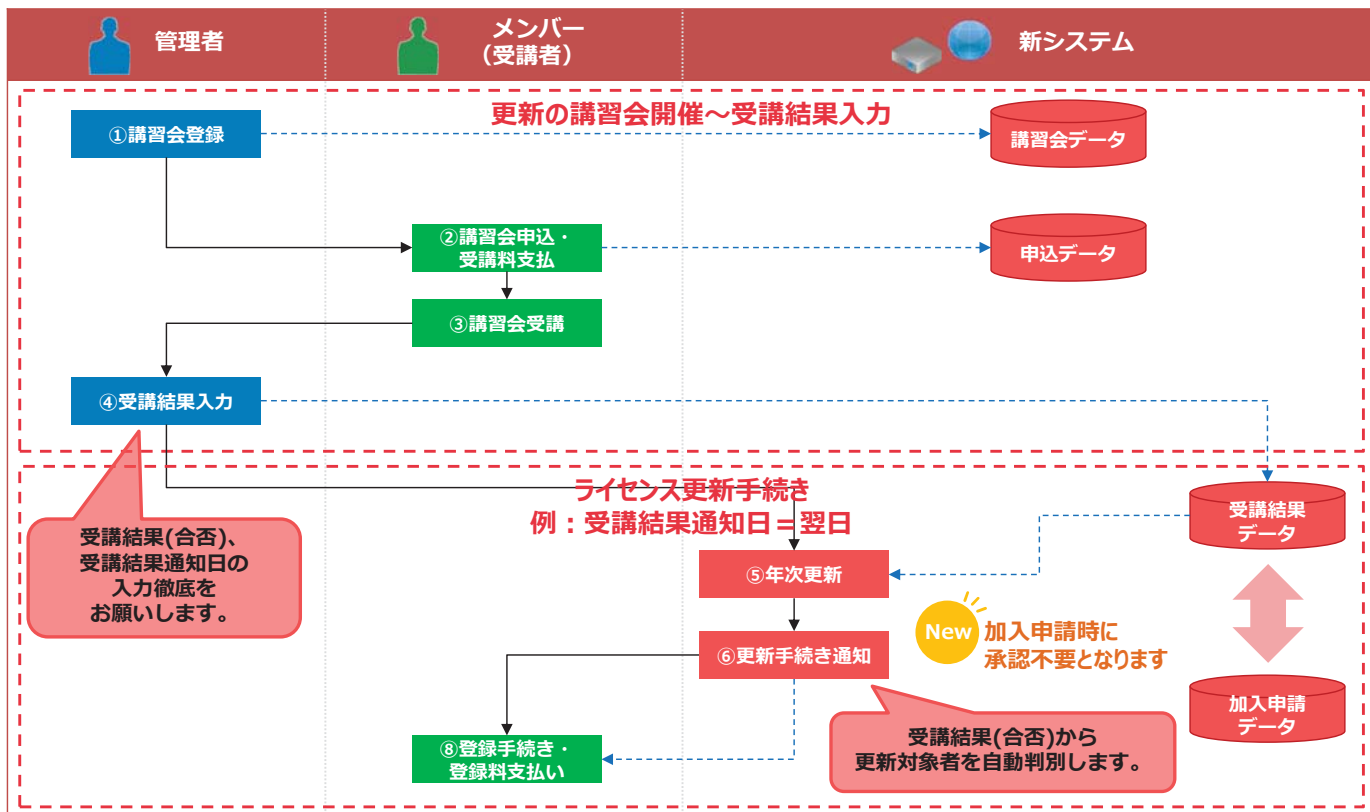
講習会～ライセンス管理（新規・昇格）



- 講習会・研修会、ライセンス（登録承認）をそれぞれ別に管理する必要がありましたが、新システムでは、講習会・研修会の受講申込・受講結果～ライセンスの登録・更新を一本化します。



- 講習会・研修会、ライセンス（登録承認）をそれぞれ別に管理する必要がありましたが、新システムでは、講習会・研修会の受講申込・受講結果～ライセンスの登録・更新を一歩化します。



<参考> 講習会設定項目一覧

No.	設定項目	設定内容	用途
1	テンプレート	登録区分/ライセンスを選択	講習会の対象テンプレートを選択します。
2	年度	当年度 or 次年度	講習会の開催年度を登録します。
3	講習会/研修会区分	審判 or コーチ or その他	講習会の対象区分を選択します。(テンプレート選択により自動入力されます。)
4	取得対象登録区分	審判 or コーチ or スタッフ/TO	ライセンスの対象区分を選択します。(テンプレート選択により自動入力されます。)
5	講習会/研修会名、講習会/研修会名(カナ)、主催、主管	テキスト	講習会名や主催、主管を登録します。
6	主管管理団体	団体を指定して入力	主管管理団体を登録します。参加費用の入金先団体と紐づきます。
7	開催地、開催期間	テキスト	開催地、開催期間を登録します。
8	科目	種別(セレクション合宿/審査機関/その他)/開催形態区分(集合研修/eラーニング)/詳細	講習会の科目を登録します。(テンプレート選択により自動入力されます。)
9	目的、内容	テキスト	講習会の目的、内容を登録します。(テンプレート選択により自動入力されます。)
10	選考方法	先着順 or 締切後抽選	選考方法を登録します。先着順を選択した場合、定員に達した時点で申込みを締め切ります。
11	承認の有無	承認なし or 承認あり	申込の承認有無設定を登録します。
12	参加条件	ライセンスを選択	講習会の申込み条件(ライセンス)を登録します。
13	参加者の年齢制限(生年月日)	日付	講習会の申込み条件(年齢)を登録します。
14	定員	あり or なし	定員の有無を設定します。選考方法で先着順を選択した場合、定員に達した時点で申込みを締め切ります。
15	定員(上限)	数値	定員を登録します。
16	ライセンス更新対象	あり or なし	ライセンス更新に必要な講習会かどうかを登録します。ライセンス更新対象の講習会で合格したときのみ、次年度年次更新時に加入申請が可能になります。(テンプレート選択により自動入力されます。)
17	取得可能ライセンス	ライセンスを選択	新規取得・昇格の講習会で対象となるライセンスを登録します。(テンプレート選択により自動入力されます。)
18	リフレッシュポイント	数値	獲得できるリフレッシュポイントを登録します。
19	キャンセル可否	可 or 不可	キャンセル可否を登録します。
20	アップロードファイル	ファイル	アップロードファイルを登録します。
21	日時制限情報	申込可能期間(日時)/受付キャンセル期限日時/情報公開日時	日時制限情報を登録します。

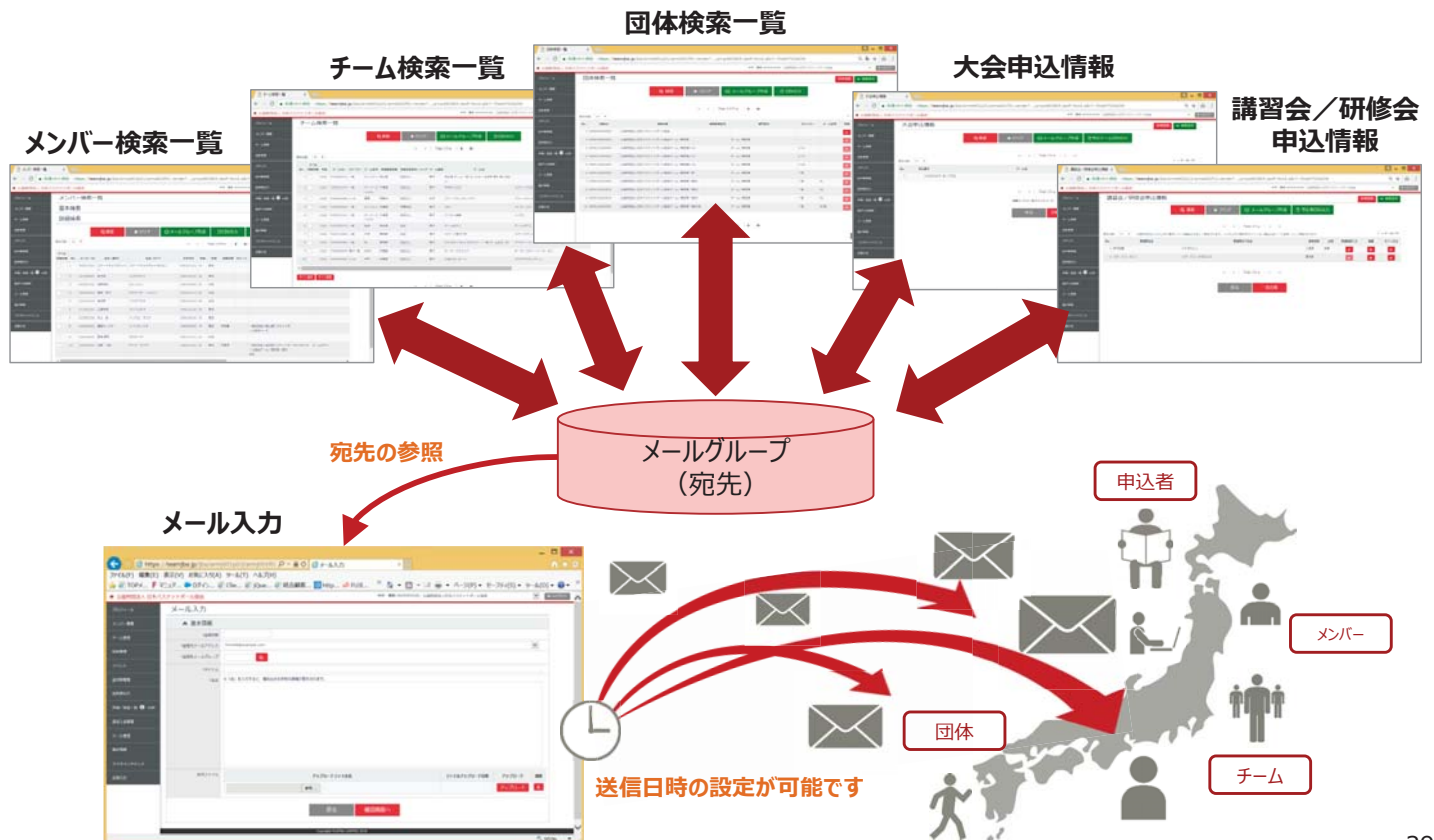
<参考> 講習会設定項目一覧

No.	設定項目	設定内容	用途
22	受講料	数値(円)	ライセンス区分ごとに受講料、テキスト代を登録します。その他を選択した場合、名目をフリー入力できます。
23	クレジット	期間/日数	申込期間内で払い込み可能期間を指定できます。(最大60日間まで設定可能)
24	コンビニ払い	期間/日数	申込期間内で払い込み可能期間を指定できます。(最大60日間まで設定可能)
25	ゆうちょ振込	期間/日数	申込期間内で払い込み可能期間を指定できます。(最大60日間まで設定可能)
26	キャンセル料金情報	期間/%	キャンセル料金情報を登録します。 ※キャンセル処理はシステムで行われません。

メール配信機能

メール配信機能

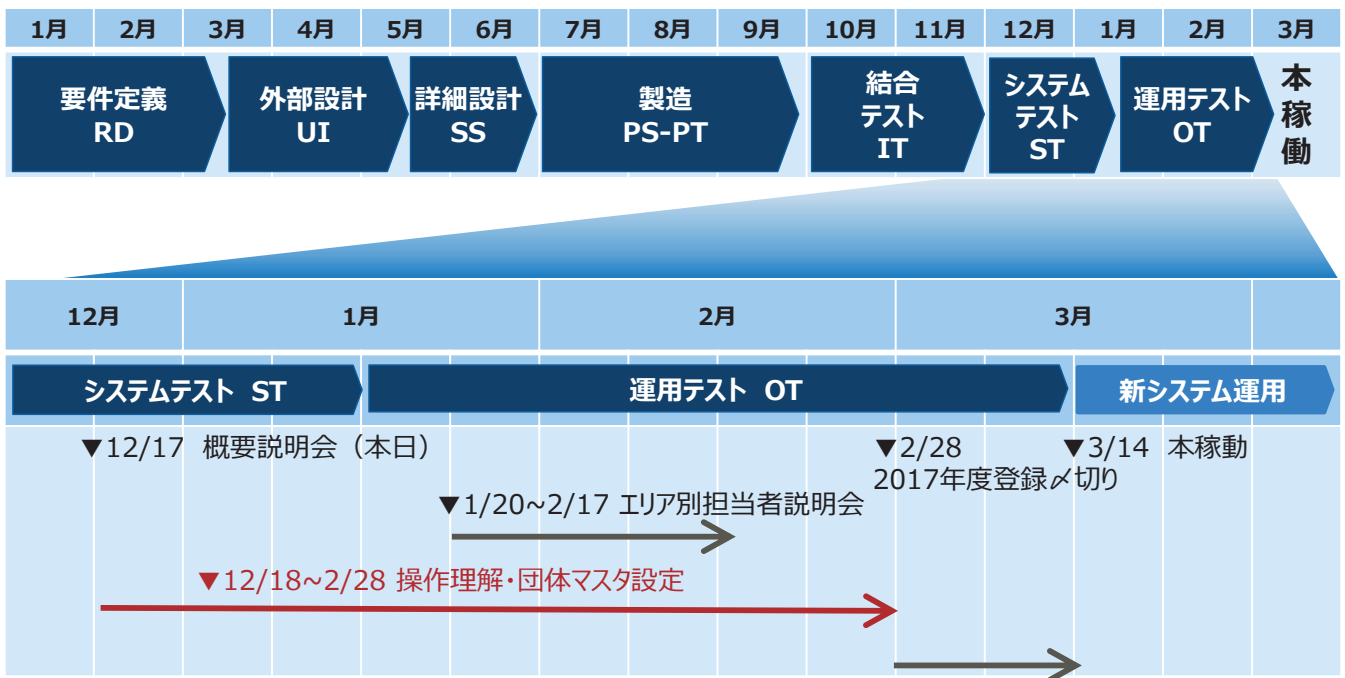
- メール送信画面を集約するため、メール配信手順が変更となります。各一覧画面からメールグループを作成後、メール本文を作成する手順となります。



その他 補足事項



新システム公開に向けたスケジュール



ご依頼事項

- ・12 /18~2/28の期間内で新システムのテスト環境を開放しますので、システム理解を目的に操作練習をお願いします。
- ・自都道府県の団体マスタ設定をお願いします。

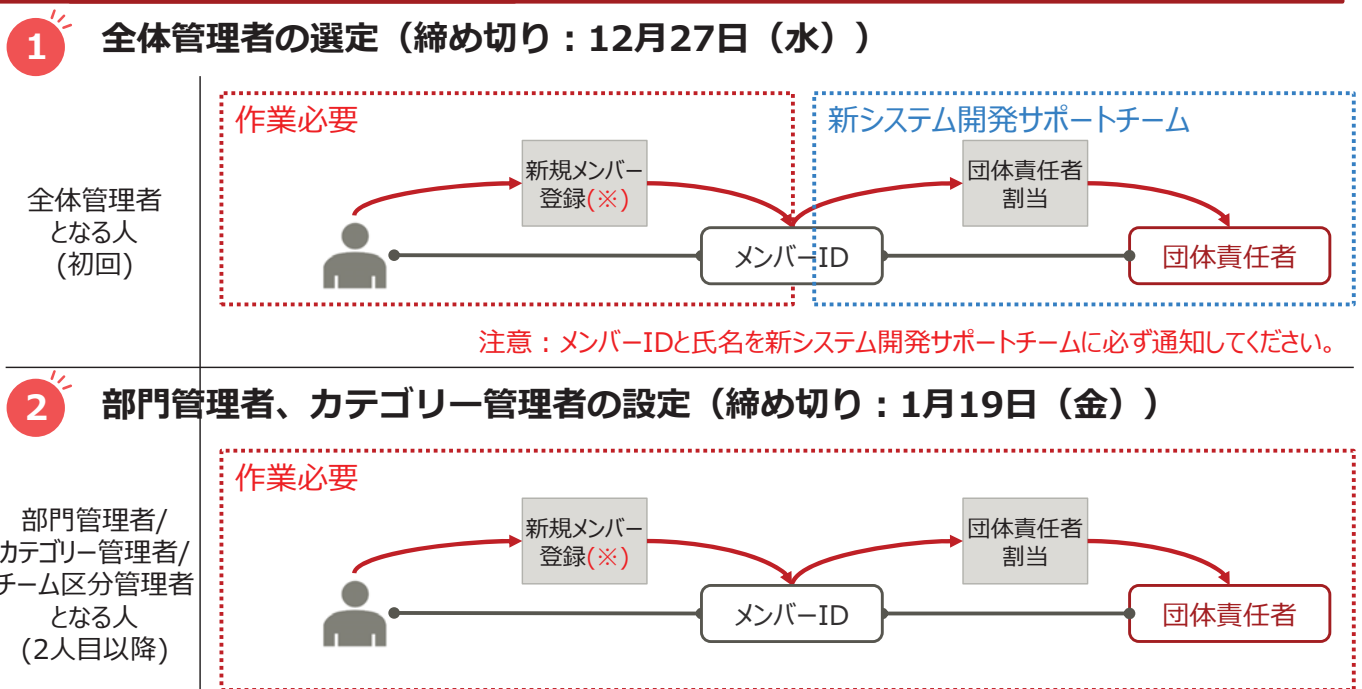
- 1 全体管理者の選定（締め切り：12月27日（水））**
 - ・都道府県の全体管理者用**メンバーID**、**氏名**を下記連絡先に通知してください。
 - ・メンバーIDを持っていない場合は、検証環境URLにアクセスして**新規ID取得し通知**してください。
 検証環境URL：https://tejba-teamjba.jp/jba/armz001p01.init
 ベーシック認証ID / パスワード：jba01 / 3Y#vG=k4g+z9
- 2 部門管理者、カテゴリー管理者の設定（締め切り：1月19日（金））**
競技者登録承認有無、チーム登録承認有無の設定（締め切り：1月19日（金））
 - ・新システム開発サポートチームにて「①全体管理者の選定」で通知いただく**メンバーID**に権限付与設定を行います。検証環境URLにログイン後、全体管理者様にて部門管理者、カテゴリー管理者を**各1人以上**登録してください。（本設定がされていない場合、新システム移行時に**全体管理者様を部門管理者、カテゴリー管理者として設定**します。）
 - ・必要に応じて**承認有無設定**を行ってください。（初期設定は承認不要で設定しています）
 - ・上記設定は[団体管理]-[団体検索一覧]-[編集]-[責任者]/[承認有無]で設定できます。
- 3 登録料の回答（締め切り：12月27日（水））**
 - ・登録料の回答をお願いします。
 - ・後日登録料設定フォーマットを都道府県協会事務局宛に送付します。

連絡先

新システムに関するQA・問合せは以下新システム開発サポートチーム宛にお願いします。
teamjba-info@basketball.or.jp（新システム開発サポートチーム）

- 団体責任者は新規メンバーID取得後、団体責任者として割当てを行うことで管理者権限を持つことができます。（責任者情報の移行は行いません）

団体責任者の登録について



※既に競技者や審判、コーチでメンバーIDを取得済の方の新規メンバー登録作業は不要です。

団体マスタ設定について（設定方法）

①全体管理者の選定を行っていただき権限付与設定が完了するとログイン後「団体管理」のメニューが表示されるようになります。

②団体検索を押下し団体検索一覧画面に遷移。自身の都道府県配下の団体を検索します。

団体マスタ設定について（設定方法）

③部門情報（カテゴリー、チーム区分がハイフン「-」の編集ボタンをクリック。右記例の場合「チーム/競技者部門」を選択

④責任者は行追加ボタンをクリック後、メンバーIDを入力し虫眼鏡ボタンクリックで追加できます。運用ルールに応じて競技者、チーム登録承有無の設定も変更してください。最後に登録ボタンをクリックすることでデータ登録が完了します。

→③の手順で他の部門やカテゴリーの編集ボタンを選択すれば、他の部門、カテゴリーの責任者を追加できます。



**バスケットボールで
日本を元気にします!**